

第34回 全国年賀はがきコンクール 受賞者代表謝辞

文部科学大臣賞 山中 優依

群馬県館林市立第二中学校三年

謝辞

私は小学二年生から書字書道を学び始めた幼少の時の頃から文字を書くのは好きでした。

習い始めは遅い方でした。特に目標というものはなくひたすらに文字を書き込め練習に励むことが好きだったと思います。二年ほど過ぎた頃書字書道コンクールで上位入賞を果たすことができた時のように。

書字書道の楽しさを実感するようになった。次第に誰にも負けたくないという気持ちから私の原動力になりました。日々の授業や大会の練習も全力で取り組みました。書道の教室には同じ学年で

お互い刺激を受け、仲間がたくやんおられます。大会で結果が出た時嬉しい時はのびやかありません。悔しさも書字書道を通して学びました。かきそれごとくも良い心の成長につながり、私に

とて諦めないうちも我慢強さを身につけられたと思います。先生方も私がくすくすに笑った

時には声を掛けてくださりその言葉が大きな励みになりました。そして良い結果が出た時には

先生も家族も自分の事のように喜んでくれました。私はそれがすくなく嬉しくて学ぶことの喜びを実感しました。私は大好きな

書道を活かして、当地アイドルMinko.ガールズの活動を設立メンバーとして七年間続けておられます。地域の活動や県の広報活動を通して皆さんの事を体験し参加することもでき、また二日警察署長一日消防長しの体験を通して私たちの

広報活動の重要性やその中で書かせていただいた書道作品にも説得力や価値を見出していた。けれどもようになり自分が学んでいこうへの感謝の気持ちからさらに膨らみました。

昨年はアメリカ合衆国ネバダ州ラスベガスでおこなわれたMinko.ガールズフェスティバルへの参加もさせていただき、現地では書字書道のすばらしさをAmemikoと声を掛けていただき、短い期間

でも文化を伝える事の重要性を強く感じました。いまはMinko.ガールズの活動を通してもっと広く世界に向けて伝えていきたいと強く思い、今以上に頑張りたいと考えております。

今回文部科学大臣賞をいただいたのは通ってからも教室の内藤先生、晴美先生、佳美先生、さらに先生でもありMinko.ガールズのリーダーでもあら優ちゃんの助けのおかげだと思います。また練習の時にサポートをしてくれた家族の支えは心より感謝しております。

さらに書字書道の先生方審査をして下さった先生方に感謝申し上げます。今後も学びの精神を忘れず、努力精進してまいります。本当にありがとうございます。

平成三十年二月十八日
館林市立第二中学校 三年
山中 優依



一般社団法人
全国書写書道教育振興会

General Incorporated Association
The National Organization for Penmanship and the Instilment of Maturity

〒198-0036 東京都青梅市河辺町 10-14-12
TEL:0428-24-1139 FAX:0428-24-1162
全書会ホームページ <https://zenshokai.or.jp>